

新規事業採択時評価結果（平成24年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 環境安全課
担当課長名： 安藤 淳

事業の概要

事業名	地域高規格道路 南薩縦貫道 主要地方道枕崎知覧線 霜出道路	事業区分	地方道	事業主体	鹿児島県
起終点	自：鹿児島県南九州市知覧町 至：鹿児島県南九州市知覧町	延長	3.4 km		
<p>事業概要</p> <p>南薩縦貫道は、薩摩半島南端に位置する南薩地域と鹿児島市との交流連携の促進を図り、南薩地域の活力ある地域づくりへの寄与を目的とした総延長約40kmの地域高規格道路である。</p> <p>霜出道路は、南薩縦貫道の一部を構成する区間であり、現在事業中の川辺道路や知覧道路と一体となって広域ネットワークを形成し、地域の活性化に大きく寄与する道路である。</p>					
<p>事業の目的、必要性</p> <p>霜出道路は、</p> <ul style="list-style-type: none"> 南薩地域から鹿児島市方面への第3次救急医療施設や物流、観光交通支援のアクセスを大幅に改善 霜出市街地の線形不良箇所の回避及び通過交通の転換により混雑を緩和し、通過交通排除による交通事故の低減に資する道路である。 					
全体事業費	30億円	計画交通量	10,200台/日		
<p>事業概要図</p>					

関係する地方公共団体等の意見
南九州市など沿線自治体で構成される南薩縦貫道路建設期成会同盟会等より南薩縦貫道の早期整備を要望されている。

学識経験者等の第三者委員会の意見
-

事業採択の前提条件
便益が費用を上回っている。
地元自治体や地元団体から早期整備の要望を受けており、円滑な事業執行が可能な環境が整っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	2.2	総費用：26億円 （事業費：25億円 維持管理費：1.2億円）	総便益：57億円 （走行時間短縮便益：50億円 走行費用減少便益：3.7億円 交通事故減少便益：3.2億円）	基準年 平成23年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=2.5 (交通量+10%)	B/C=1.8 (交通量-10%)	
		事業費変動	B/C=2.0 (事業費+10%)	B/C=2.4 (事業費-10%)	
		事業期間変動	B/C=2.1 (事業期間+20%)	B/C=2.2 (事業期間-20%)	
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	○	通過交通の転換により混雑緩和が見込まれる。 【渋滞損失時間の改善】 並行区間：約6.1万人時間/年 削減量：約5.0万人時間/年（約6.1万人時間/年→1.1万人時間/年）	
		事故対策	◎	通過交通の排除等により通過交通に起因する死傷事故の減少が見込まれる。 【安全性の向上（事故の減少）】 並行区間 391.2件/億台km（現況） ※県内平均死傷事故率 64.6件/億台kmの約6倍	
	歩行空間	-			
	社会全体への影響	住民生活	○	第3次救急医療施設（鹿児島市立病院）へのアクセス向上に寄与する。	
		地域経済	◎	九州縦貫自動車道鹿児島インターや鹿児島中央駅、鹿児島港、枕崎港へのアクセス向上及び定時性確保	
災害		-			
環境		-			
地域社会	○	南薩地域（南九州市、南さつま市、指宿市、枕崎市）の観光地へのアクセス向上（年間観光客入り込み数860万人）			
事業実施環境	○	<ul style="list-style-type: none"> 『かごしま将来ビジョン』において、重点的に推進する事業として位置づけ有り。 南薩縦貫道路建設期成会同盟会等から強い要望。 			

採択の理由

事業主体である鹿児島県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が2.2と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。
また、交通混雑の緩和、交通事故の削減等、社会全体への効果は高いと判断される。
以上より、本事業を平成24年度の新規事業箇所として採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。